



FileCapsule

for Android ヘルプファイル

1. はじめに

このファイルは、FileCapsule のヘルプファイルです。
FileCapsule の操作方法等が記載されていますのでご確認ください。

1.1 FileCapsule の動作可能OS

- Android 4.0.3 以降

1.2 注意事項

- 本ソフトの配布に当たっては十分な動作テストを行っていますが、万が一誤動作すること考えられますので、ご使用になる環境で一度動作確認をしてからご利用になることをお勧めします。
- 本ドキュメントに記載されている社名および商品名は、本文中には明記していませんが、一般に各メーカーの商標または登録商標です。

2. FileCapsule について

2.1 他の FileCapsule との互換性

本ソフトウェアと互換性のある FileCapsule は、FileCapsule Deluxe Portable Ver.2.x および FileCapsule Slate です。
本ソフトウェアは共通鍵暗号のみに対応しており、上記のソフトウェアで作成された公開鍵、秘密鍵、および公開鍵で暗号化されたファイルは扱うことができません。

2.2 暗号化アルゴリズム

■ 共通鍵暗号方式

アルゴリズム: AES-CBC 256 ビット

ハッシュ: SHA-2

■ 公開鍵暗号方式

アルゴリズム: RSA-OAEP 2048 ビット & AES-CBC 256 ビット

ハッシュ: SHA-2

2.3 仕様上の制限

- 処理できるデータのパスは 259 字以内です。
- 共通鍵暗号のパスワードは半角 64 字以内です。
- 暗号ファイルに格納できるファイルとフォルダーは、合計で 327675 個までです。
- 一つのファイルとして処理できる最大データ量は、理論上 18446744073709551615 バイトです。
- FileCapsule Deluxe Portable と互換性のある、実行形式の暗号化ファイルを作成することはできません。
- 公開鍵で暗号化されたファイルは復号することができません。
- 他のアプリで管理されているファイルは、処理完了後に削除または上書きして削除することができません。

2. FileCapsule について

2.4 使用許諾契約

FileCapsule（以下、このページ内では「本ソフトウェア」といいます）を使用する前に、以下のソフトウェア使用許諾契約に同意していただく必要があります。

1. 使用許諾

本ソフトウェアの作者はユーザーに対し、以下の禁止事項に触れない範囲で、ファイルやフォルダーを暗号化および復号する目的に本ソフトウェアを使用する限り、商用、非商用を問わず無償で使用する権利を許諾します。

2. 禁止事項

- (1)ユーザーは、本ソフトウェアについて、無許可で変更、改作、または翻訳を行うことができません。
- (2)ユーザーは、本ソフトウェアについて、理由の如何に関わらずソースコードおよび内部的な動作の詳細を解明することが出来ません。
- (3)ユーザーは、このソフトを使用して、他人の不利益となるような事を行ってはいけません。

3. 免責事項

- (1)本ソフトウェアの作者は、本ソフトウェアの性能または特定目的への適合性について、一切の保証をいたしません。
- (2)本ソフトウェアの作者は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じた直接的または間接的損害に対し、一切の責任を負いません。

3. インストールとアンインストール

3.1 インストール

FileCapsule のインストールは、必ず Google Play を利用して行う必要があります。Google Play 以外の配布元から入手したアプリケーションは、改変されている可能性がありますので決してインストールしないでください。

FileCapsule はインストール先として、外部記憶域が優先されるように作成しています。

3.2 アンインストール

FileCapsule は、通常の Android アプリケーションと同様の方法でアンインストールすることが可能です。

4. 暗号化を行う

4.1 ファイルを選択する

FileCapsule を立ち上げて、[暗号化] を選択してください。ファイル選択ダイアログが立ち上がり、ファイルやフォルダーを選択することができます。フォルダーを選択する場合は、選択したいフォルダーを長押しします。

[すべて選択 / 解除] ボタンを押すことによって、表示されている項目をすべて選択することもできます。

暗号化するファイルやフォルダーを選択し終わったら、画面下にある [パスワードの入力へ進む] を選択してください。



4. 暗号化を行う

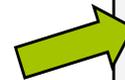
4.2 パスワードを入力する

前の手順で選択したファイルやフォルダーを暗号化するため、パスワードを入力してください。

パスワードを忘れるとデータを復号することができなくなります。ご注意ください。

パスワードを入力し終わったら、[暗号化の開始] を選択します。

パスワードを入力してください



パスワードの入力が終わったら
ここを選択してください



4. 暗号化を行う

4.3 処理の実行と完了画面

データの暗号化は、戻るボタンを押すか、アクションバーのアイコンを押すことで、いつでもキャンセルすることができます。
暗号化中は、他のアプリに切り替えたり、電源ボタンを押して画面を消したりしていても、バックグラウンドで処理が続行されます。

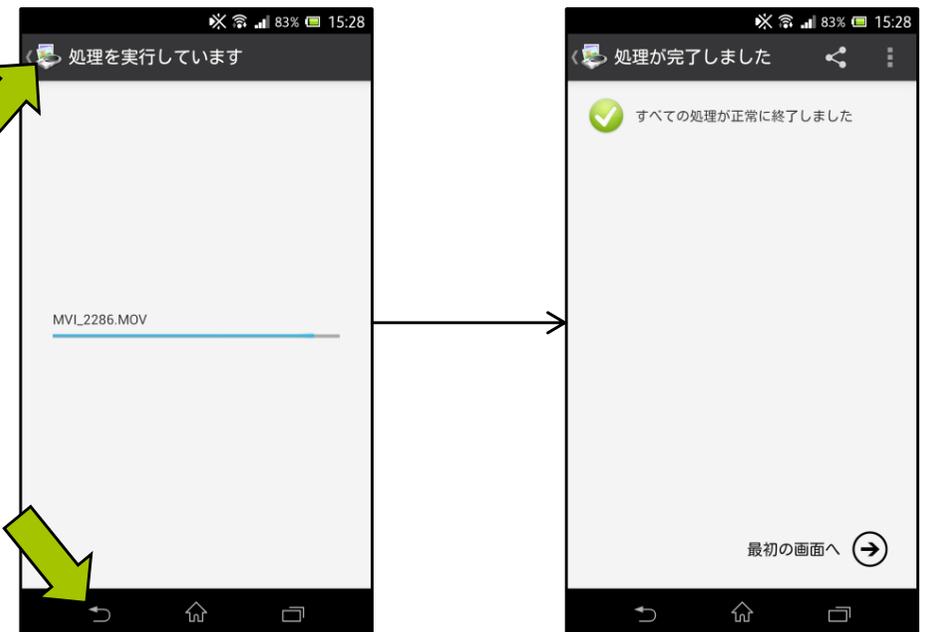
暗号化が完了すると、処理完了のページが表示されます。バックグラウンドで実行中の場合は、次に FileCapsule が表示されるまで何も表示されません。

※注意

他アプリに切り替えた後に FileCapsule に戻る場合は、必ずアプリの履歴から FileCapsule を呼び出してください。
ホームのアプリ一覧から実行された場合は、実行中の処理を中断して最初の画面を表示します。

ここを押すことで
暗号化をキャンセルできます

戻るボタンでも暗号化を
キャンセルすることが可能です



5. 復号を行う

5.1 ファイルを選択する

FileCapsule を立ち上げて、[復号] を選択してください。ファイル選択ダイアログが立ち上がり、暗号化ファイルを選択することができます。

[すべて選択 / 解除] ボタンを押すことによって、現在表示されているフォルダーにある暗号化ファイルをすべて選択することもできます。

復号する暗号化ファイルを選択し終わったら、画面下にある [次へ] を選択してください。



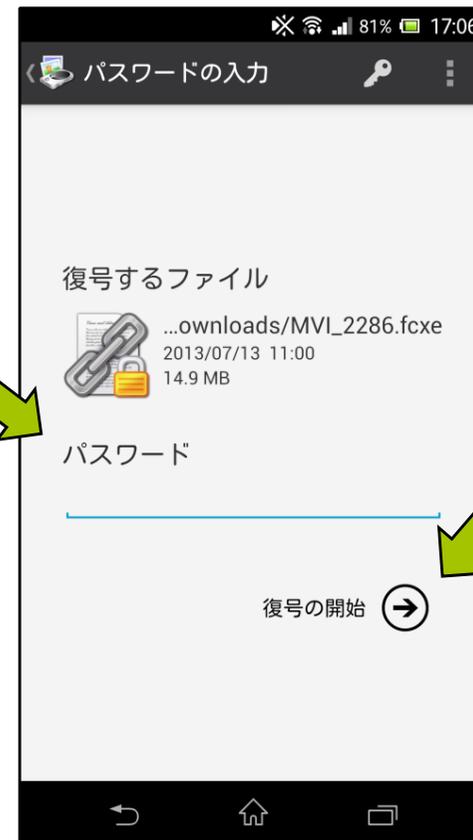
5. 復号を行う

5.2 パスワードを入力する

前の手順で選択した暗号化ファイルを復号するため、暗号化時に入力したものと同一パスワードを入力してください。

パスワードを入力し終わったら、[復号の開始] を選択します。

パスワードを入力してください



パスワードの入力が終わったら
ここを選択してください



5. 復号を行う

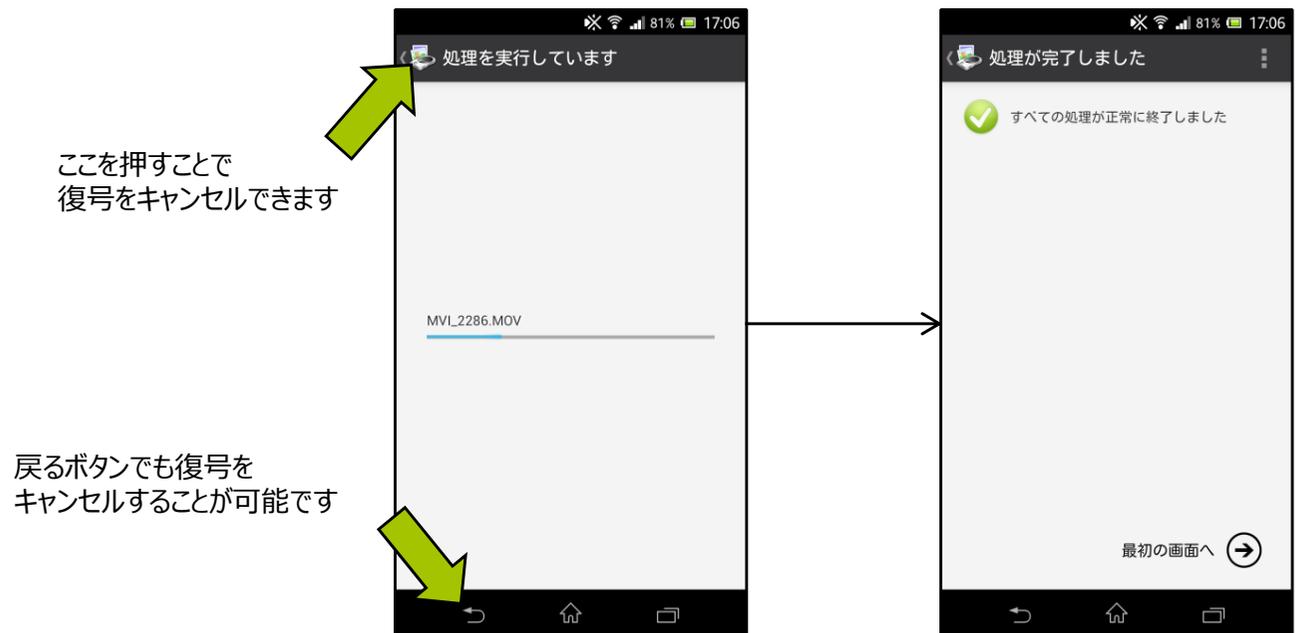
5.3 処理の実行と完了画面

データの復号は、戻るボタンを押すか、アクションバーのアイコンを押すことで、いつでもキャンセルすることができます。
復号中は、他のアプリに切り替えたり、電源ボタンを押して画面を消したりしていても、バックグラウンドで処理が続行されます。

復号が完了すると、処理完了のページが表示されます。バックグラウンドで実行中の場合は、次に FileCapsule が表示されるまで何も表示されません。

※注意

他アプリに切り替えた後に FileCapsule に戻る場合は、必ずアプリの履歴から FileCapsule を呼び出してください。
ホームのアプリ一覧から実行された場合は、実行中の処理を中断して最初の画面を表示します。



6. 動作設定を行う

6.1 暗号化の設定

■ 暗号化ファイルの保存先

暗号化ファイルをどこに保存するか設定することができます。

[アプリの既定のフォルダー] を設定すると、暗号化ファイルはストレージの “FileCapsule/encrypted” フォルダーに保存されます。

[オリジナルデータと同じフォルダー] を設定していても、暗号化前のファイルの保存場所によっては同じフォルダーに保存されないことがあります。

■ 暗号化後の処理

暗号化後に、暗号化前のデータを削除するかどうかを設定することができます。

[上書き後に削除] に設定しておく、削除された元のファイルの復元をより困難にすることができます。

重要なファイルやフォルダーであっても、削除できるものは暗号化後に確認なく削除が実行されます。ご注意ください。

■ 履歴を記録する

この設定を有効にすることで、復号の際に、以前暗号化したファイルを簡単に選択できるようになります。

履歴は最大10件まで記録され、10件を超えると古いものから削除されていきます。（暗号化ファイル自体は削除されません）



6. 動作設定を行う

6.2 復号の設定

■ 復号データの保存先

復号されたファイルやフォルダーをどこに保存するかを設定することができます。

[アプリの既定のフォルダー] を設定すると、暗号化ファイルはストレージの“FileCapsule/decrypted” フォルダーに保存されます。

[オリジナルデータと同じフォルダー] を設定していても、復号前の暗号化ファイルの保存場所によっては同じフォルダーに保存されないことがあります。

■ フォルダーを作成する

この項目を設定しておくことで、復号の際にフォルダーを作成し、その中にデータを復号することができます。

■ 復号後の処理

復号後に、暗号化ファイルを削除するかどうかを設定することができます。

[上書き後に削除] に設定しておく、削除された暗号化ファイルの復元をより困難にすることができます。



6. 動作設定を行う

6.3 その他の設定

■ 改ざんのチェックを行う

ファイルの復号が行われた時に、そのファイルが暗号化前と同じ内容かどうかを確認することができます。
復号時にこの項目を設定していても、この項目を設定せずに暗号化されたファイルを復号する場合は確認が行われません。

■ 隠しファイルを表示する

この項目を設定することで、ファイルやフォルダを選択する画面で隠しファイルや隠しフォルダが表示されるようになり、それらの選択が可能になります。



7. いろいろな使い方

7.1 共有から FileCapsule を選択する

各種ファイラーなどからファイルやフォルダーを選択し、共有メニューを表示すると、共有可能なアプリのアイコンが一覧で表示されます。その中から FileCapsule のアイコンを選択すると、ファイラーなどで選択したファイルやフォルダーを FileCapsule で処理することができます。

7.2 FileCapsule から共有するアプリを選択する

暗号化の終了後に、完了画面から [共有] メニューを選択することで、他のアプリと暗号化ファイルを共有することができます。処理後の暗号化ファイルをメールに添付したり、クラウドストレージサービスにアップロードする際に便利です。

ここを押すと共有できます



7. いろいろな使い方

7.3 ファイルをパスワードとして利用する

暗号化、復号共に、パスワードの入力画面で [ファイルをパスワードとして利用する] メニューを選択することで、ファイルをパスワードの代わりに使うことができます。ファイルをパスワードの代わりにして暗号化されたファイルは、同じファイルがなければ復号することができません。

ここを押すと、パスワードの代わりに使うファイルを選択することができます

暗号化時



復号時



7. いろいろな使い方

7.4 他のアプリのファイルを開く

アプリを開いた画面で右上のアイコンを選択すると、他のアプリで管理しているファイルを暗号化したり復号したりすることができます。

※このアイコンは Android 4.4 未満の端末では表示されません。



8. その他

8.1 連絡先とサポート

サポートはメールでのみ行います。以下のメールアドレスまでご連絡ください。

メールの件名に [ADRD] が含まれているメールは、受信の際に自動的に振り分けられるように設定しています。

resume_next@infoseek.jp

すべてのご要望に応えられるわけではありませんが、こんな機能が欲しい、ここが使いにくい、などお気軽にお寄せいただければ幸いです。

8.2 再配布・掲載に関して

■ 再配布

ヘルプファイルの再配布は自由です。FileCapsule のアプリ本体の再配布も自由ですが、ユーザー様には Google Play からのインストールを推奨しています。これらを再配布する場合は、ファイルの構成を変更せずに行ってください。

■ 掲載

雑誌やウェブサイトなどへの掲載に関して、特に制限はありません。事前・事後のご連絡も不要です。が、ご一報いただくと作者が喜びます :)

8. その他

8.3 プライバシーポリシー

FileCapsule は、処理を行う際にユーザーが選択したファイルやフォルダーを読み取り、その内容を利用します。

ファイルおよびフォルダーを利用する目的は、ファイルの暗号化、復号、および暗号化または復号に用いるパスワードや鍵の生成に限られます。

ユーザーが選択していないファイルやフォルダーを FileCapsule が読み取ることはありません。また、ファイルやパスワードなど、ユーザーに関するデータが FileCapsule によってユーザーの管理できない場所に保存されたり送信されたりすることはありません。

8.4 アプリに与えられているパーミッションについて

- USBストレージのコンテンツの変更または削除 / 保護されたストレージへのテストアクセス

暗号化されたファイルや、復号されたデータを端末内に保存するために設定しています。

- タブレットのスリープを無効化

暗号化や復号処理、パスワードの生成で、アプリがバックグラウンドに移行した場合でも処理を続行するために設定しています。

8. その他

8.5 よくある質問と回答

- ファイルの保存先を、元のファイルと同じ場所に設定していたのに、ファイルが保存されていません。

クラウドストレージ上に保存されているファイルを共有メニューから FileCapsule に渡した場合など、元のファイルが端末に保存されていなかった場合は、処理後のファイルを元のファイルと同じ場所に保存することができません。

そのような場合、処理後のファイルはストレージの FileCapsule フォルダ内に保存されますのでご確認ください。

- パスワードを忘れてしまったのですが、復号は可能ですか。

パスワードを忘れてしまった場合、復号は不可能になります。パスワードを思い出していただくか、思いつくものをすべて入力していただかなければなりません。